

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

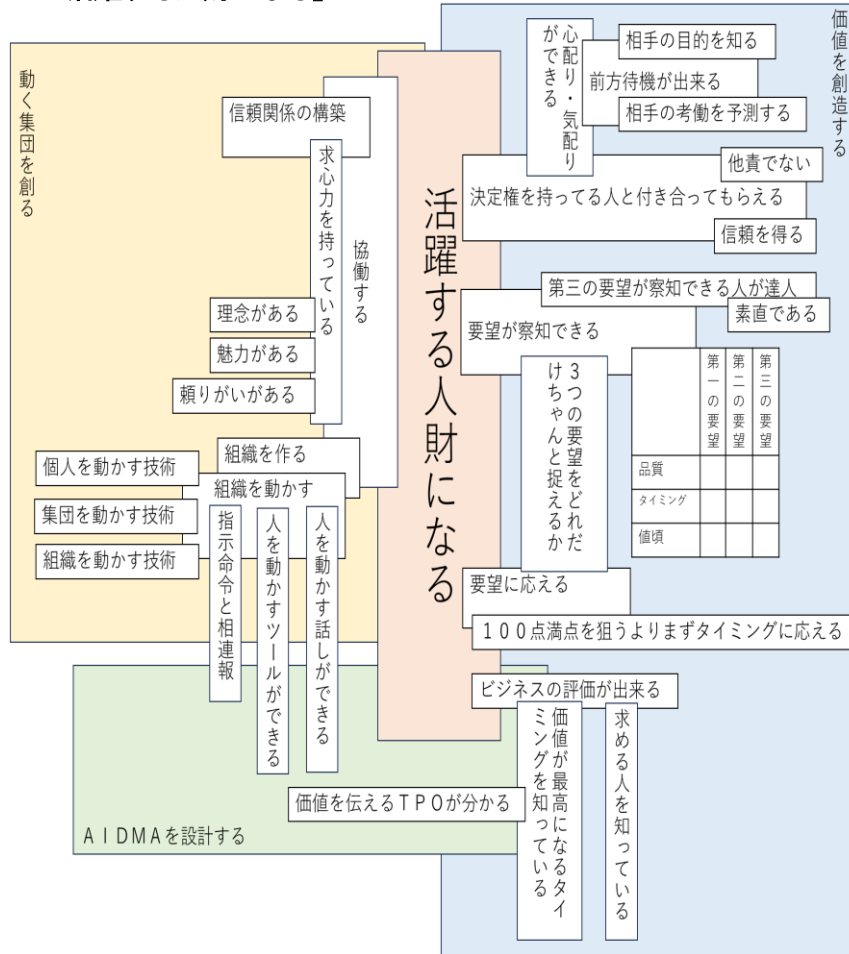
## ◆入社3～5年の社員教育

入社3～5年目は新たなキャリアのステップを踏み出すための転換点となる。一方で業務に慣れ始め、マンネリ化へのリスクが高まる時期でもある。彼らが自分の存在感を明確にし、第一線で更なる活躍ができるサポートをおこなうだけでなく、そういった課題への対応面でもフォロー研修は不可欠である。

### 《活躍できる環境を整える》

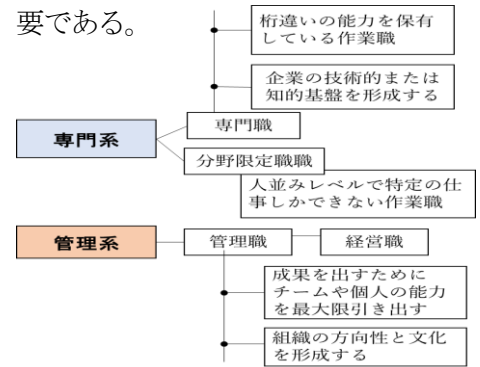
入社3～5年目はそれまでに身につけた基礎能力を活かして、活躍の場を拓げていく時期。そのための不可欠なスキルや技術を習得するための場としてこの時期のフォロー研修は、重要な役割を担う。活躍に必要な要素は以下の通りである。

～「活躍する人財になる」ために～



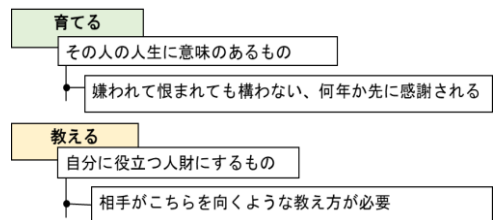
### 《専門系か管理系か、選択の準備》

専門職としての道を進むか、管理職としてのキャリアを目指すのか、選択するための準備を行うのもこの時期。専門職、管理職それぞれについて理解するための十分な情報とフォローが必要である。



### 《育てる側の心得》

「育てる＝教える」ではない。「教える」とは組織の中で共に仕事をするために最低限必要な部分を指導することであり、その人の人生に意味があるものについて、何年か先に感謝されるように指導することを「育てる」という。



## ◆西山語録「やり遂げるとは」

単に与えられた作業を終了させるのではなく、自分に期待されている役割を理解し、それを達成すること。

## ◆今年も「情報てんこもり」ご覧いただきありがとうございました！

2023年の配信は本号で最後となります。一年間、「情報てんこもり」をご覧いただき、誠にありがとうございました。来年もBSO活動の最新情報やBSOノウハウなど皆さまに少しでも役立つ情報をお届けいたします。来年も変わらぬご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動（受託事業・企画事業・出版事業）のタイムリーな情報をいち早く多くの方々にご提供いただくために発信しております。（お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで）

